

明日天気になあれ!

大垣教区 藤 祐樹

さあ、蝉が元気に鳴き始め、夏がはじまります。「暑いなあ、しんどいなあ」と一日何回言っているでしょうね。半年前は「寒いなあ、暖かくならんかなあ」と言っていました。

みんなは夏が好き?冬?春?秋?みんなはどの季節でも楽しさを見つけて、全部好きなのかもしれないね。じゃあ天気はどう?晴れが好き?雨が好き?

昔から、「明日天気になあれ」と言って靴を脱ぎ飛ばす占いの遊びがあります。運動会や遠足、遊びに行く前の日に、よくやったものです。これは靴を脱ぎ飛ばして、靴が表向きなら晴れ、裏向きなら雨、横向きならくもり、という遊びです。私も子どものころ、外で遊びたくて、晴れを願って毎日やっていました。表向きに落ちたのに、次の日が大雨ということもよくあったけどね。あるとき「毎日晴ればかりだとお野菜やお花がかわいそうだよ」と農家のおばあさんに言われたことを思い出します。

みんなは「良い天気」ってどういう天気のことを言いますか?晴れ・くもり・雨・雷・雪、台風…。「良い天気です」と会話をするときには、晴れの日

のことを言い、「天気が悪い」ということを指していませんか。でも、よく考えてみよう。天気に良いも悪いもないよね。晴れの日はかり続いて雨が降らないと植物が枯れてしまうし、水不足にもなってしまう。逆に雨が降り続いても困ります。自分の都合で、晴れが悪い天気になり、雨も良い天気になるのです。

以前、ある人と「今日は雨で嫌な天気です」と会話をしていると、その人は、「私は雨の方が良いですよ」と言いました。傘を作っている会社の人でした。また、涼しい夏に電器屋さんと話した時、「今年の夏は涼しくて良いですね」というと、「今年はクーラーが売れず、困っている」と話していました。私たちは天気ひとつをとっても、それぞれ

子どもたちと聞く法話

自分の都合で「良い・悪い」を決めてしまいます。自分が「好きか嫌いか」「損か得か」と思っている。

では「良い子・悪い子」「好きな子・嫌いな子」ってどういふ人のことをいいますか?勉強やスポーツのできる子、絵や音楽が得意な子、元気な子、おとなしい子、喧嘩をする子、いたずらをする子、先生の言うことを聞かない子…。いろんな子がいるね。勉強やスポーツが苦手なのは悪い事じゃないよね。そう、みんな個性があって、素敵なところがあります。自分の思い通りにならない子、話が合わない子、自分の邪魔をする子を嫌っていませんか。嫌だなあって思ったとき、よく考えてみましょう。自分はその子とちゃんと話をしていますか。相手のことを考えていますか。自分だって相手から見たら同じことなのですよ。

仏さまは、「どんな子でも、どんなことでも、みんな素敵なところがあるよ」とみんなを見ています。自分が正しい、思い通りになるのが当然と思ってしまう私たち。自分の都合で、「良い・悪い」「好き・嫌い」を決めている私たちにとって、思い通りにならない天気があたりまえ。思い通りにならない相手があたりまえ。仏さまのように、素敵なところを見つけてみましょう。お日様のひかりや、暖かさ、大地を潤す恵みの雨。一緒にいて楽しいことも、苦しいこと

も共に過ごしてくれる友達、怒ってくれる家族、厳しく教えてくれる先生。嫌だなあと思った時は、一度考えてみましょう。みんなは、夏の素敵なところ、冬の素敵なところ、春、秋、それぞれ楽しいところを見つけてよさげなことができる名人だから。「明日晴れになあれ!」ではなくて「明日天気になあれ!」というのは、どんな天気でも素敵なところを見つけて、よろこべるということなのかもしれないね。

さあ、どんなお天気になるか、どんなお友達と出会うか、どんな自分になるか、「明日天気になあれ!」というしよに靴を飛ばしましょう。

蓮ちゃん通信 その②

お盆参りに来た子どもたちに手渡してみませんか?

配布例

青少年センターが提案する法務の場での“ひと工夫”
お盆や夏休みと、普段より子どもとの出あいが増えるシーズン!リーフレットやキャラクターシールに、子どもが好きな風船を添えて、子どもたちのご縁づくりに活用してみませんか?
※写真のように袋にまとめておくと渡しやすくなりますよ!

ほとけの子風船 [価格]800円(1袋50個入り)
ほとけの子リーフレット・キャラクターシール【無償】
お問い合わせ・お求めは、青少年センターまで。

